

施設栽培における秋ギク型スプレーギクのシェードによる採花期拡大

(園試南部分場・野菜花き部)

1. 背景とねらい

商品性の高い秋ギク型スプレーギクの長期継続出荷を目的として、施設栽培における定植時期と開花調節（短日処理および自然日長）条件の組合せについて検討した結果、開花時期および切花品質において実用性を確認したので、指導上の参考に供する。

2. 技術の内容

- (1) 秋ギク型品種では、シェード(短日処理)栽培によって自然開花期よりも早く開花させることが可能で、季咲き栽培との組合せにより採花期間を拡大することができる。
- (2) 開花週数の異なる品種と作型(定植期・シェードの有無)の組合せにより、9月上旬から11月中旬までの出荷が可能となる。
- (3) 短日処理により開花が揃うほか、花房形も整いやすいことから、シェード栽培は品質向上にも有効である。

開花週数	定植時期	開花調節	採花期	供試品種(花房形)
7週	6月上～下旬	短日処理	9月上旬～10月上旬	サマクイン(円錐～平)
	7月中旬	自然日長	10月中旬	同上(平)
8週	6月上～下旬	短日処理	9月上旬～10月上旬	スージー(平)
	7月中旬	自然日長	10月中～下旬	同上(平)
9週	6月上～下旬	短日処理	9月中旬～10月中旬	スワソ(平) ピンキー(円錐～円筒)
	7月中旬	自然日長	10月下旬～11月上旬	スワソ(平) ピンキー(円錐～平)
10週	6月上～下旬	短日処理	9月下旬～10月中旬	ムソラト(円錐～円筒)
	7月中旬	自然日長	11月上～中旬	同上(円錐～円筒)

- (4) 適応地域および適応作型 県中南部および県中南部沿岸、施設栽培

3. 指導上の留意事項

- (1) シェード(短日処理)の方法

ア、遮光資材を用いて完全遮光とし、日長を12時間に制御する(例:夕方6時閉～翌朝6時開)。

イシェードは摘心後側枝が20cm程度の長さに伸びた頃から開始し、蕾が着色し始める頃または秋分の日まで毎日行う。

(2) 施設内の気温は13~25℃を目安として保温・換気に努める。

4. 試験成績の概要

表 秋ギク型スプレーギクの定植期と短日処理の有無による採花期と切り花品質

品種名	年次	定植日 (月・日)	短日 処理	採花期			切花長 (cm)	切花重 (g)	分枝数 (本)	花房形
				始	50%	終				
サマー	3	6・5	有	9・5	9・9	9・23	91.5	51.0	7.9	4.2
	4	6・5	有	9・4	9・11	9・14	87.8	47.9	5.4	3.2
クイン	3	6・25	有	10・2	10・4	10・9	89.3	49.8	8.2	3.9
	4	6・25	有	10・5	10・7	10・12	105.5	56.3	7.8	3.2
(7週咲)	3	7・15	無	10・16	10・16	10・21	94.5	63.1	4.6	3.2
	4	7・15	無	10・14	10・16	10・19	80.0	34.6	4.6	3.6
スージー	3	6・5	有	9・4	9・6	9・9	88.4	97.4	4.8	3.4
	3	6・25	有	9・30	10・2	10・4	100.2	69.2	6.5	3.3
				4	6・25	有	10・5	10・5	10・12	106.7
3	7・15	無	10・21	10・21	10・29	104.0	79.3	4.7	3.0	
スワン	3	6・5	有	9・13	9・13	9・23	93.7	66.2	7.7	3.5
	3	6・25	有	10・7	10・7	10・9	117.9	77.9	6.3	3.1
				4	6・25	有	10・12	10・14	10・14	114.6
3	7・15	無	10・28	10・28	10・29	111.2	75.5	2.7	2.0	
ピンキー	3	6・5	有	9・13	9・15	9・23	94.4	85.1	10.8	4.8
				4	6・5	有	9・14	9・18	9・25	81.0
	3	6・25	有	9・30	10・7	10・9	97.9	73.2	8.5	4.2
4				6・25	有	10・12	10・14	10・16	100.1	54.4
(9週咲)	3	7・15	無	10・28	11・2	11・6	110.0	85.4	4.5	3.0
				4	7・15	無	10・26	11・2	11・6	100.7
ムーン* ライト	3	6・3	有	9・19	9・21	9・23	78.9	61.6	17.3	3.7
	3	6・25	有	10・9	10・13	10・15	82.8	55.0	18.0	4.2
				4	6・25	有	10・7	10・9	10・11	86.5
(10週咲)	3	7・15	無	11・10	11・14	11・17	90.7	101.0	17.0	3.3
				4	7・15	無	11・2	11・5	11・7	125.5

注1) ムーンライトは園試本場にて調査(4年7・15定植以外は露地栽培)。他の品種は南部分場にて調査(施設栽培)。

2) 短日処理による日長は10時間とした。

3) 花房形は川田氏の分類により、円筒形(5)、円錐形(4)、平形(3)、凹形(2)、乱形(1)として配点し、平均値で示した(品質的にもこの順で優れるが、販売面では平形以上が望ましい)。